

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	農業基盤整備事業			事業番号	23-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	辻 雅弘	農業振興課農林整備担当	萩原徳之	

計 画(P l a n)

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	10	地域の産業が盛んなまちをつくる	
		施策	23	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	
予算事業名	農業基盤整備促進事業				
	農地耕作条件改善事業				
事務区分〔選択〕	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	できる規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成24年度	～	終了年度	
関連法令等	土地改良法、神奈川県土地改良事業等補助金交付要綱				
国・県の計画等	農業農村整備事業管理計画			計画期間	平成28年度～
関連個別計画	農地耕作条件改善計画			計画期間	平成28年度～
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	農業従事者の高齢化に伴い、将来の担い手不足により耕作放棄地が増加傾向にあるなかで、食料の安定供給を確保し、農業の持続的発展を図っていくためには、新規就農者を確保し、その育成を図ることが課題となっています。また、農地が農地として維持され将来にわたり農用地の機能が十分に発揮されることを確保するとともに、集積により規模拡大に取り組む担い手の負担を軽減するためにも農業基盤の整備が求められています。				
目 的 (何をどうしたいのか)	農業経営と農村環境の向上を図るため、用排水路や農道、取水堰等の農業基盤施設の整備を進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	当地域の耕作者				
事業内容 (手段、手法など)	・下小稲葉地区の全体計画28haの内、7haの農道・水路整備等を実施します。 ・基盤整備が必要な地区の農道、水路、取水堰等の整備を実施します。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	農道の整備	用地、補償	工事	測量、設計、用地買収	
	水路の整備	工事	工事	測量、設計	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	農道の整備延長	—	—	L=666.7m	—

事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	国庫補助金を活用した事業進捗を滞りなく行えるよう、県及び地元関係者との調整を行いながら取組を進めます。				
実施方法 〔選択・記入〕	☒ すべて直接実施 ☐ 左記以外				
	☐ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者		
	☐ 補助金		補助先		
	☐ その他		具体的内容		
実施結果	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	農道の整備	用地補償	農道整備		
	水路の整備	水路整備	水路整備		
実施した取組の内容	・工事執行(水路L=218.5m、農道L=702.1m)のうち、水路L=87.0m、農道L=345.0m整備を実施しました。 ・残りは、翌年度へ繰越を行い令和2年7月末の完成を目指し整備中です。				
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	農道の整備延長	—	—	345m	

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績			
	事業費合計 (a)		26,440		千円	39,000		千円	0		千円			
	内訳	国県支出金 ①	18,200		千円	27,300		千円	0		千円			
		地方債 ②	7,000		千円	11,500		千円	0		千円			
		その他特財 ③	0		千円	0		千円	0		千円			
		一般財源 (a)-①-②-③	1,240		千円	200		千円	0		千円			
	国県支出金の内容		農地耕作条件改善事業補助金: 補助率 国50% 県20% 市30%											
	その他特財の内容	受益者負担	○ 有 ● 無			前回の改定時期								
		その他												
	人件費	正規職員	0.37	人	3,149	千円	0.37	人	3,219	千円	0	人	0	千円
		その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)	0.37	人	3,149	千円	0.37	人	3,219	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)		29,589			千円	42,219			千円	0			千円
単位当たりコスト	対象数	定義	当地域の耕作者			単位	当地域の耕作者			単位				
		対象数	151			戸	151			戸				
		総事業費／対象数	195,954			円	279,596			円	円			

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	☐ 計画どおり (A) ☒ 概ね計画どおり (B) ☐ 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	・計画どおり工事の執行を行ったが、地元調整等に時間を要したため、年度内完成が見込めず翌年度への繰越工事となった。
実施水準 〔選択・記入〕	☐ 他市より高い水準で実施 (A) ☐ 他市と同水準で実施 (B) ☐ 他市より低い水準で実施 (C) ☒ 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	・事業規模や整備内容により、一律に比較できない事業です。
有効性 〔選択・記入〕	☒ 高い (A) ☐ 普通 (B) ☐ 低い (C)	A	左記判断理由	・農道や用水路を整備することにより、効率的な営農が図られます。
効率性 〔選択・記入〕	☒ 効率的に実施されている (A) ☐ 改善の余地がある (B) ☐ 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	・補助金を有効に活用し、農業基盤整備を進めることが出来ました。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しの上継続	事業推進上の課題	・事業に必要な財源は国庫補助金と県補助金で事業費の70%を占めることから、補助金の確保が重要となります。
令和2年度取組方針		・国庫補助金を活用した事業進捗を滞りなく行えるよう、関係機関(県及び地元等)との調整を行いながら取組を進めます。		
所管部長による総評		・下小稲葉地区の農業経営の安定化と農村環境の向上を図るため、本事業の推進は必要であると考えます。このことから、第2期地区の整備についても計画的に推進することが必要です。		